



寺田接骨院だより

寺田接骨院 ☎55-0876 寺田鍼灸院(予約専用) ☎53-8761 〒610-0121 城陽市寺田樋尻48

近鉄寺田駅西側商店街内動物病院隣「十両」様前 *ホームページは城陽市寺田接骨院で⇒検索

首、肩、うで、腰、膝、足等の治療は当院に遠慮なくご相談ください!!

皆様、新年明けましておめでとうございます! お正月はいかがお過ごしでしたか? お正月は、普段忙しくてなかなか顔を合わせられない人に会ったり、離れて暮らしている家族が集まって一緒に過ごしたりしますが、皆さんも集まってワイワイ賑わいましたか?

もちろん、そういったお正月に欠かせないものといえば、何といても「おせち」ではないでしょうか。お重に入った「おせち」があると、その場がパッと華やかになり、その色とりどりの美しさに心もウキウキさせられます。また、「おせち」は舌で感じる美味しさ、目で見るとの美しさだけでなく、ひとつひとつのお料理に“深い意味”が込められているのは知っていましたか? 例えば、『黒豆』は“1年をまめ(豆)に暮らせるように”、『昆布』は“福が授かる食べ物”、『栗きんとん』は“黄金色であることから財産がたまるように”といったような意味が込められていたんですね。

話は変わりますが…、皆さんは“初日の出”をご覧になられましたか? ちょっと興味があったので『日本でいち早く初日の出を見られる場所』を調べてみたところ、見られる場所は北海道根室市にある「納沙布岬」、「富士山頂」、そして千葉県銚子市の「犬吠埼」のようです。

根室市の「納沙布岬」では元旦の朝5時からイベントが行われ、郷土芸能の「根室太鼓」をやったり、温かいコーヒーやお茶がふるまわれたそうです。初日の出を眺めながらのコーヒーはきっと格別でしょうね。来年のお正月は“旅”に出て、初日の出を眺めながら温かいコーヒーを飲む。そういった過ごし方もいいのではないかと思います。それでは皆様、本年も宜しくお願い致します。

寺田接骨院スタッフ一同



めいおうせい “冥王星”が 発見された日



昨年(2009年)は日本で皆既日食が見られたこともあり、昨今は“天文ブーム”になっていますが、今からちょうど80年前の1930年(昭和5年)“1月23日”は、太陽系第9惑星として知られる『冥王星』がアメリカの天文学者によって発見された日です。

1930年、アメリカの天文学者「クライド・トンボー」は太陽系第9惑星を探すプロジェクトに取り組んでいました。トンボーは当時、最新技術で撮影した写真を丹念に調べた結果、“1930年2月18日”ついに太陽系第9惑星の冥王星を見つけることに成功します。

トンボーが冥王星を発見した日は、実際1930年2月18日でしたが、1月23日に撮影された写真が決め手となって見つかったため、小惑星センターに登録された冥王星の発見日は“1930年1月23日”となりました。

しかし、冥王星は1930年に発見されて以来、長い間9番目の惑星とされてきましたが、太陽系の研究が進歩するにつれ、1992年頃から冥王星に似た大きさの天体が続々と発見され始めます。すると、研究者の間では冥王星を惑星とみなすことへの疑問の声が広まり始めます。

そして、発見されてから76年後の“2006年8月に開かれた国際天文学連合総会”で、冥王星は太陽系の惑星から外されて「準惑星」の分類となり、太陽系の惑星は水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星の8個になることが決定します。

冥王星は世界各国の人々に、太陽系の9番目の惑星として長い間親しまれてきました。

特に、冥王星を発見したクライド・トンボーがアメリカ人であったことから、冥王星はアメリカ人が発見した唯一の惑星として、発見当初からアメリカの誇りとされてきましたが、2006年に惑星から外されることが決まると、多くのアメリカ人から失望や落胆、不満の声が強く聞かれたそうです。

